

平成27年度 事業計画書  
(平成27年4月1日～平成28年3月31日まで)

1. アーカイブ事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関する作品や資料の収集、保存及びその公開を行なう。また、活動に関わる諸テーマについて、独自で調査、研究を実施すると共に、国内外機関・個人との共同研究等も行う。【定款 第4条(1)、(3)、(6)】

ポスター作品を高精細デジタルデータで撮影して保存する作業を田中一光作品からスタートしたが、平成27年度は、保存作業を他作家のポスター作品に広げる。ポスターアーカイブは、追加寄贈いただける作家からの体系的な寄贈を受け入れ、田中一光、福田繁雄、永井一正のポスターアーカイブ寄託品を海外美術館等へ寄贈する活動は継続推進する。今までの作品管理を中心とするデータベースを一般公開・利用を可能とするものにリニューアルする。将来的にアーカイブ作品を一般に公開する仕組みやアーカイブセンターとしての機能・仕様は引き続き検討する。

(1) 田中一光アーカイブ

実務担当者からヒヤリング調査によって得られた田中一光作品が制作された当時の製版・印刷にかかわる技術・ノウハウ情報を整理する。同時に作品以外の資料類などのデータの精緻化、保存状態の最適化(デジタル保存など)を進める。

(2) ポスターアーカイブ

国内外の現代グラフィックデザインの秀作を次世代に文化資源として残すための収集活動を継続する。平成27年度は、すでに寄贈いただいているデザイナー(浅葉克己など)の追加収蔵を予定している。

また、田中一光作品で検証した高精細撮影、画像合成、撮影機材などのノウハウを活用してポスター作品のデジタル化を進める。

現在、国内 115 作家、海外 113 作家、計 228 作家、13,038 作品を収蔵している。

(3) タイラーグラフィックス・アーカイブ

平成27年度、タイラーグラフィックスのコレクションによる収蔵品展をCCGAにて2回開催する。また、他美術館への作品の貸し出しも、諸橋近代美術館「アメリカが愛したダリ」展(4/20～6/28)にロイ・リキテンスタイン作品 5 点貸出予定。

(4) データベースのリニューアル

リニューアルステップは、内部利用のための「管理系リニューアル」と外部利用を実現する「公開系リニューアル」の2段階で実施する。世界的に進む文化資源のデータベース化の動向を踏まえた開発を目指し、利用者のインターフェイスなども充実させる。

## 2. 展示事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とする優れた作品等の展示活動を行なう。展示企画内容により、必要に応じて国内外機関、個人との共同研究等を行ない、また、展示施設の管理運営を行なう。【定款 第4条(2)、(6)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート作品に関する鑑賞・体験機会を一般に広く提供するため、独自の展覧会を企画する。展覧会は、東京都 ggg、京都市 ddd、須賀川市 CCGA の3展示施設で開催する。

平成27年度は、次ページに記載した予定表に従って展覧会を開催する。

gggは、施設設備の老朽化にともない、リニューアル工事を12月から3月にかけて実施する。

・gggでは、改修により8回の企画展開催となるが、恒例のTDC展、ADC展に加えて、海外作家展(スタンリー・ウォン、ラース・ミュラー)、インタラクティブなデジタル作品展(ライゾマティクス)、若手デザイナー展(色部義昭)など幅広いテーマを予定。

・京都dddギャラリーは、移転後まもなく、周辺の認知も充分とは言えないので、広報活動も注力して行う。また、来場者の特性などの把握にも努め、今後の企画に反映させる。

8月～10月開催の「20世紀琳派、田中一光展」は、昨今大きなブームとなる琳派(400年)をテーマとして、京都の琳派400年祭事業と連携して開催する。

・CCGAでは、開館20周年記念展「21世紀のグラフィックビジョン」、DNPグラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展「浅葉克己」、「タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.28」を開催する。

### (1)gggのリニューアル工事

DNP銀座ビル全体の改修工事に伴いgggの施設設備(1階、地下1階)のリニューアルを実施する。

内容： 内装工事、電気・空調・防災工事、バリアフリー対応工事、その他

期間：平成27年12月～平成28年3月(予定)

リニューアル中には、日比谷図書館の展示室を活用して企画展を共催する予定。

案1 タイトル：THE NIPPON POSTERS (京都dddギャラリーからの巡回)

会期：平成27年12月11日(金)～平成28年1月11日(月)

案2 タイトル：BOOK DESIGN 展(祖父江慎展)

会期：平成28年1月21日(木)～3月20日(日)

リニューアルオープンは、平成28年4月とし、その後の年間企画展の開催回数・期間の見直しも検討する。

・ggg(銀座)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 344 回 2015TDC 展	4/3(金)～4/28(火)
第 345 回 スタンリー・ウォン展	5/9(土)～5/30(土)
第 346 回 ライゾマティクス展	6/5(金)～6/27(土)
第 347 回 2015ADC 展	7/2(木)～7/27(月)
第 348 回 ラース・ミュラー展	8/4(火)～8/26(水)
第 349 回 色部義昭展	9/2(水)～9/28(月)
第 350 回 未定	10/5(月)～10/27(火)
第 351 回 大日本タイポ組合展	11/4(水)～11/28(土)
改修リニューアル	12月～3月

・ddd(京都)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 202 回 ラース・ミュラー展	4/10(金)～5/30(土)
第 203 回 2015TDC 展 (巡回展)	6/8(月)～7/31(金)
第 204 回 20 世紀琳派 田中一光展	8/18(火)～10/29(木)
第 205 回 ヘルムート・シュミット展	11/9(月)～12/22(火)
第 206 回 大日本タイポ組合展(予定)	1/15(金)～3/31(木)

・CCGA(福島)展覧会事業 (予定)

企画展	会期
第 65 回 21 世紀のグラフィックビジョン展	3/1(土)～6/7(日)
第 66 回 DNP グラフィックデザイン・アーカイブ収蔵品展: 浅葉克己展(仮称)	6/13(土)～9/13(日)
第 67 回 タイラーグラフィックス・アーカイブコレクション展 Vol.28	9/19(土)～12/23(水)
冬期休館 (第 27 回 田善顕彰版画展 2/7～2/13 予定)	12/24(木)～2/29(月)
未定	3/1(火)～

ggg、ddd の入場料は、無料とする。CCGA の入場料は、有料(一般 300 円、学生 200 円)とする。但し、以下の方々は無料とする。

小学生以下と 65 歳以上の方、及び障がい者手帳をお持ちの方、地域の教育関係者(教員、学生)の教育を目的とした団体、オープニングイベント参加者、有料の講演会、映画会等への参加者 他

### 3. 教育・普及事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等に関するセミナーの開催、刊行物やインターネット等を通じた情報提供等の教育・普及活動の実施。【定款 第4条(4)】

グラフィックデザインならびにグラフィックアート等に関する知識・関心を、一般の方々に広げることが目的に、講演会、対談、図書等の刊行、インターネットを通じた情報配信を行なう。

平成27年度、ggg Books は4点を発行予定。アニュアルレポートは、8月に発行予定とする。

ggg Books の電子書籍版の発行も継続し、電子図書館での利用を促進する。ギャラリートークは、無料動画ネット配信により、来場できなかった不特定多数の方々が広く参加できるものとする。

須賀川CCGAにおいて、地元の版画文化振興と連携して版画工房ワークショップと版画工房の一般開放を継続実施する。また、CCGAのFaceBookサイトの運営を活性化し、ネットワークコミュニティを通じた活動告知もおこなう。

#### ・図書の刊行：

平成27年度は、展覧会と連動し、作家の作品集「ggg Books」を4点（発行予定作家：スタンリー・ウォン、ライゾマティクス、色部義昭、大日本タイポ組合）発行する。

田中一光アーカイブを活用した田中一光インタビュー集の刊行準備。

電子書籍の発行と電子図書館への導入促進

#### ・アニュアルレポート発行：

平成27年度は、「アニュアルレポート 14-15」を8月に発行し、翌年度刊行する「アニュアルレポート 15-16」の企画・編集を開始する。

#### ・ギャラリートーク：

平成27年度は ggg(銀座)で7回、ddd(京都)で5回開催予定。

また、セミナーは、原則としてインターネット(ユーストリーム)を通じて不特定多数の人に向けて配信する。

dddでは、ギャラリーの認知拡大にもつなげるために、外部(大学、公共施設など)の会場を活用してセミナーを開催する。

・ホームページ:

不特定多数の方に向けて、新鮮な情報発信を行う。インターネットを活用した展覧会の予告、開催状況、ギャラリートークの予告、電子書籍などの告知、研究助成プログラムの告知・申込みなどに活用する。

また、スマートフォンやタブレット端末の普及拡大をふまえ、ホームページのリニューアル仕様をまとめる。

・版画工房ワークショップ: 3回開催予定

=5月開催予定 エッチング講座

=7月開催予定 未定

=11月開催予定 未定

#### 4. 国際交流事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした国際交流を行う。【定款 第4条(5)】

平成27年度は、gggにて2回の海外作家の展覧会を開催して、海外のグラフィックデザイン事情を紹介する。海外作家らの講演会を、展覧会活動と連動し、来日日程に合わせて開催する。

国内の他のグラフィック団体(東京アートディレクターズクラブ(ADC)、東京タイプディレクターズクラブ(TDC)等)と連携し、企画展の巡回先を検討する。

また、世界27カ国のトップデザイナーによって構成される国際グラフィック連盟(Alliance Graphic International)の日本事務局のサポートを継続し、海外作家との情報交換を積極的におこなう。(AGI総会は、9月21日～9月26日にスイス・ビールで開催予定)

・スタンリー・ウォン(5月ggg、香港)、ラース・ミュラー(4月5月ddd、8月ggg、スイス)の企画展を開催し、作家のみならず各国の大使館やコーディネーターなどとの文化交流を促進する。

・AGI 日本会員向けホームページの運用サポートを継続する。

・AGI 国際執行委員のアジア地区アドバイザーを務める原研哉氏をサポートし、未だAGI会員のいないアジアの諸地域からの会員発掘を目指す。

## 5. 研究助成事業関連

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を中心とした芸術文化活動に対する顕彰及び助成。【定款 第4条(7)】

グラフィックデザイン、グラフィックアート等を対象としたコミュニケーション、印刷複製、表現の理論、技術、知識、歴史などを継続しテーマとする。また、CCGA(須賀川市)周辺で開催されるグラフィックアートに関連する文化事業に対して従来から行ってきた協賛を継続する。

平成27年度も継続して

A部門:「グラフィックデザイン、グラフィックアート全般をテーマとする研究」、

B部門:「グラフィックデザイナー、田中一光に関する研究」

の研究テーマに対して助成をおこなう。

9月に開催予定の審査委員会によって助成対象となる研究テーマを同件数程度、選考して、年度単位で募集・選考・成果報告・発表を実施する。また、継続助成を希望するテーマについても審査する。

助成テーマの募集は、インターネットやチラシなどによって行い、国内外の研究者による研究を対象とする。当財団が保有するアーカイブ資料・データベースを活用した研究テーマも助成対象とし、当財団のアーカイブ事業の充実にも反映させる。

### スケジュール

4月 平成27年度研究助成テーマ募集スタート

7月 応募締め切り

9月 審査委員会の開催

10月 採択テーマの発表(発表後1年6ヶ月で成果の提出)

### 審査委員

柏木 博(委員長) 武蔵野美術大学教授

前田富士男 中部大学特任教授、慶應義塾大学名誉教授

井口壽乃 埼玉大学教授

佐藤 卓 グラフィックデザイナー、日本グラフィックデザイナー協会副会長

建畠 哲 埼玉県立近代美術館館長

並木誠士 京都工芸繊維大学教授、京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長

また、研究成果が集まった後の成果発表の形態などの検討を行う。

以上